

花ごよみ

2024年 253号
3月17日

発行：公財) 東京動物園協会 井の頭自然文化園

気まぐれな気温の変化に植物たちは戸惑っている様子。春に開花する園内の植物も、例年に比べ数週間も早く咲く花もあれば、遅く咲くものもあります。

1
かわいい花と毒



アセビ

アセビ（馬酔木）は常緑で、早春に釣鐘状の小さな花をブドウの果実のようにまとまってつけます。花は白いものが一般的ですが、園内では薄紫色の園芸品種が多く見られます。枝葉に毒を含んでおり馬が食べると酔ったようにふらつくことから「馬酔木」と名付けられたようです。

2
春は花、秋は紅葉



ドウダンツツジ

①と同じツツジ科で、アセビの花のあとによく似た釣鐘状の花を咲かせます。こちらは落葉樹で秋に鮮やかに紅葉し、年間を通して楽しめる植物です。

3
よりそって咲く二輪



ニリンソウ

名前の由来は、その多くが一本の茎から二輪の花をつけるからだとか。若葉は山菜として食べられますが、猛毒の「トリカブト」に似ていることから注意が必要です。

4



レンギョウ

5



ヒメリユウキンカ

6



カタクリ

7



ユキヤナギ



最新号や過去の「花ごよみ」をスマートフォンでご覧になりたい方は、右のQRコードより公式HP、「東京ズーネット」にアクセスしてください。

